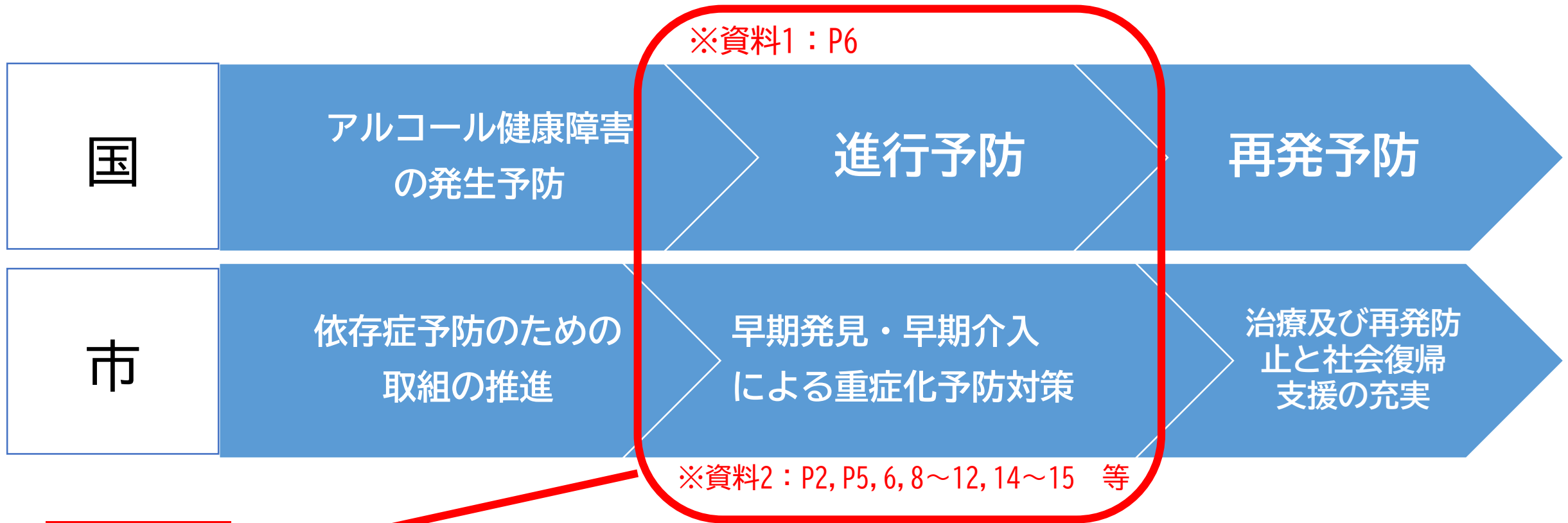


相談から支援につなげる体制の充実に向けて

国・市におけるアルコール健康障害の進行予防対策に係る課題 ²



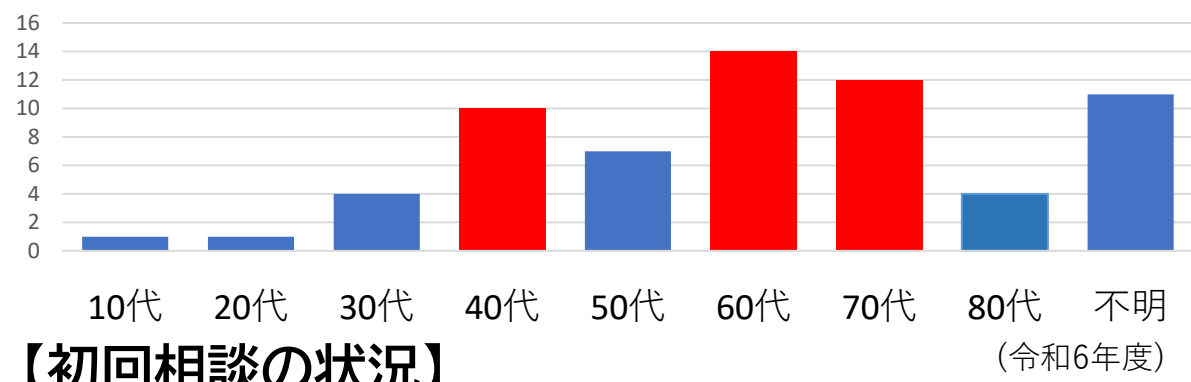
議事

- テーマ1 当事者及び家族等を**初回相談**につなげるための関わり方・連携
- テーマ2 **継続相談**につなげるための初期対応等のあり方

【支援の流れ】



こころの健康センターにおけるアルコール相談対象者(年代別)



【初回相談の状況】

対象者の年齢区分	本人		家族・その他	
		匿名		匿名
40代	2	1	8	0
50代	1	0	6	2
60代	2	1	12	5
70代	0	0	12	5
80代	0	0	4	1

【支援の課題】

- ①アルコール健康障害を抱える本人からの直接相談が少ないため、迅速な支援が行えない。
- ②家族からは「受診させたいが本人は言うことをきかない。どう説得したらいいか」と、本人の対応に困り果てて疲弊した状態になってから相談を受けることが多い。

〈審議事項〉
 本人及び家族・地域の関係者が支援にたどりつくためには、どのような関わり方や連携が考えられるか。

【支援の流れ】



【継続支援の現状】

	内容	件数
①	電話相談	64
②	依存症担当から連絡 (連絡先が確保できた場合)	36
③	依存症担当による面接、訪問	21

【支援の課題】

次の支援段階へ進めない要因

- ・ 匿名相談により連絡先が確保できていない
- ・ 面接予約をしても来所しない等

継続的な関わりにつながらない場合がある。

〈審議事項〉

相談者を継続的な支援につなげるには、
初期対応等でどのような工夫が考えられるか。